

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09030040

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	3 水産業の振興	事業優先度	A	
単位施策	1 水産資源の保護・増大	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	ほたて漁場貝殻散布事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	雄武漁業協同組合	関係課	#N/A	
事業指標	貝殻散布量		#N/A	
事業目標	12,000t	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	無	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全 体 計 画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
事 業 内 容		事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	
計 画 内 容	当海域の海底は、細砂の底質が多く下場がやわらかく漁獲効率を下げているため、稚貝放流前に貝殻を散布し、漁場改良を実施する。 (ほたて砕け貝の削減及び漁獲効率の向上を図る。) ○総事業費 45,000千円 ・散布費用 37,500千円 ・調査費用 5,000千円 ・用船料 1,000千円 ・人件費外 1,500千円 ○財源内訳 ・自己財源 35,000千円 ・町補助金 10,000千円	貝殻散布による底質改良 幌内沖 D海域 2,400t ○総事業費 9,000千円 ・散布費用 7,500千円 ・調査費用 1,000千円 ・用船料 200千円 ・人件費外 300千円 ○財源内訳 ・自己財源 7,000千円 ・町補助金 2,000千円	貝殻散布による底質改良 魚田沖 C海域 2,400t ○総事業費 9,000千円 ・散布費用 7,500千円 ・調査費用 1,000千円 ・用船料 200千円 ・人件費外 300千円 ○財源内訳 ・自己財源 7,000千円 ・町補助金 2,000千円	貝殻散布による底質改良 雄武沖 B海域 2,400t ○総事業費 9,000千円 ・散布費用 7,500千円 ・調査費用 1,000千円 ・用船料 200千円 ・人件費外 300千円 ○財源内訳 ・自己財源 7,000千円 ・町補助金 2,000千円	貝殻散布による底質改良 沢木沖 A海域 2,400t ○総事業費 9,000千円 ・散布費用 7,500千円 ・調査費用 1,000千円 ・用船料 200千円 ・人件費外 300千円 ○財源内訳 ・自己財源 7,000千円 ・町補助金 2,000千円	貝殻散布による底質改良 幌内沖 D海域 2,400t ○総事業費 9,000千円 ・散布費用 7,500千円 ・調査費用 1,000千円 ・用船料 200千円 ・人件費外 300千円 ○財源内訳 ・自己財源 7,000千円 ・町補助金 2,000千円	
	事業費(千円)	10,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
計 画 事 業 費	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	道支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	10,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	0	0	0	0	0	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	6,000	2,000	2,000	2,000	0	
	国庫支出金	0	0	0	0	0	
	道支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	6,000	2,000	2,000	2,000	0	
	その他	0	0	0	0	0	
関 連 事 項	特定財源の名称 過疎債(ソフト) 【評価・実績】	(実施内容等) 沢木沖A海域 2,400t ・町補助金の支出 ※ 沢木沖の漁場改良が優先と判断されたため、海域を変更 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 魚田沖C海域 2,400t ・町補助金の支出 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 雄武沖B海域 2,400t ・町補助金の支出 ※事務事業評価結果 A-継続/内容の見直し・変更	(実施内容等) ※事務事業評価結果	(実施内容等) ※事務事業評価結果	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	2,400t	2,400t	2,400t	2,400t	2,400t
		年度達成率	100%	100%	100%	0%	0%
	第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	20%	40%	60%	60%	60%
		備考欄					

事業名	ほたて漁場貝殻散布事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田和幸
		評価者 作成者 職氏名	産業振興課長補佐	安井雅憲

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	漁業者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	貝殻散布量
【抱える課題やニーズは】	ほたて貝の漁場は砂質状の底質が多く漁獲効率を下げている。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	ほたて貝殻を粉碎し、漁場へ散布することにより底質改良を行う。	① 貝殻散布量	目標年度 平成27年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	割れ貝発生の低減及び漁獲効率を向上させる。		目標値 2,400 t
			実績値 2,400 t
		②	達成度 100.0 %
			目標年度 平成27年度
			目標値
			実績値
			達成度 #DIV/0! %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	事業実施機関への助成	ほたて稚貝放流海域へのほたて貝殻散布の実施に対する補助金の支出	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	ほたて漁業の振興は、漁業者のみならず水産加工業など地域経済に影響のあるものであり、漁獲効率を向上させ、ほたて貝の安定的な生産を促進させるための事業であることから、町も支援する必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	漁場の底質が改善され、割れ貝の発生が低減されているなど、漁獲効率が上がっている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	町内から排出されるほたて貝殻を有効活用することにより、事業コスト削減が図られており、定額補助することにより事業費の増加を抑制している。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

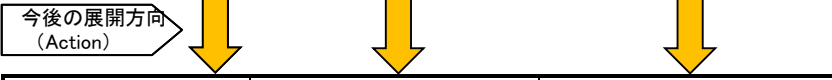
公平	判断の理由	事業費の約8割が自己財源により実施されている。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
<b>A</b>		
ほたて貝殻を有効活用し、底質改良することで、漁獲効率向上が図られているほか、近年、天然貝の発生が見られるなど、二次的な効果も表れている。		



継続/内容の見直し・変更		
ほたて漁業の安定化を図る上で、漁場の底質改良は必要不可欠であり、近年の漁獲量減少に伴い事業実施主体の経営安定を理由に平成28年度は休止するものの、継続することが重要となる事業である。		

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
  - 終了 ○休止 ○廃止